



健康で文化的な生活や、さまざまな社会経済活動を支える水道。水道は現在、多くの市民が利用できるまでに普及しました。一方、老朽化施設の更新や、地震などの災害対策の推進など、安全で良質な

その経営に伴う収入をもって「充てること」と定められ、独立採算制を基本としています。水道水を継続して供給する上で、水道施設の維持管理などの経費は、皆さんが支払っている水道料金によって賄われ

水管と、これに直結した給水用具（蛇口など）をいいます。給水装置やビルなどの貯水槽は、工事費を負担して設置している皆さんのもので、自ら維持管理をする必要があります。月に一度はメーター器の蓋を開けて、漏水の有無の確認や、メーター器の周囲をきれいにしましょう。

早めに接続して安全で安定した水道水をご利用ください。指定事業者へ申し込むことにより、書類の手続きから工事施工までの一切を指定事業者が行います。

※皆さんが使用する給水装置の構造や材質の基準が水道法に定められており、この基準に適合していない給水管・給水用具の使用・不適合工事の場合は、給水を受けられないことがありますのでご注意ください。

カラカラで 蛇口に飛び込む 僕の口

6月1日から7日は水道週間
 閩水道工務課 ☎(55)8384

水を安定的に供給できるシステムを円滑に推進する必要があります。

ています。このため、常に経費の節減と効率的な事務遂行に心がけています。

給水装置の工事は、指定事業者が水道使用者の委託を受けて施工します。指定事業者には、国家資格を有する給水装置工事主任技術者がいるため安心です。給水区域内で水道に加入していない家庭も、

漏水を見つけたら 道路に埋設されている水道管は、重い車両の通行や、地盤沈下などにより亀裂が生じ、

放射線物質の測定は、玉造浄水場、佐原浄水場、城山第2浄水場、栗源の大神浄水場、中央浄水場で実施し、これらで浄水および原水での放射性物質は、不検出です。

健全な水道事業経営を推進

水道事業の経営は、法律によって「事業に必要な経費は、

給水装置などの維持管理

給水装置とは、水道の配水管から分岐して設置された給

給水装置工事の申し込み

給水装置の工事は、指定事業者が水道使用者の委託を受けて施工します。指定事業者には、国家資格を有する給水装置工事主任技術者がいるため安心です。給水区域内で水道に加入していない家庭も、

漏水を見つけたら

道路に埋設されている水道管は、重い車両の通行や、地盤沈下などにより亀裂が生じ、

水道水の放射性物質の測定

放射線物質の測定は、玉造浄水場、佐原浄水場、城山第2浄水場、栗源の大神浄水場、中央浄水場で実施し、これらで浄水および原水での放射性物質は、不検出です。

功労に晴れの栄誉



春の叙勲
瑞宝単光章

元京成電鉄(株)京成稲毛駅長
 藤ヶ崎 元義さん
 (佐原イ)



春の叙勲
瑞宝小綬章

元千葉県都市部長
 伊能 楯雄さん
 (佐原イ)



死亡叙勲
旭日単光章

元香取市選挙管理委員会委員長
 故塚本 敏男さん
 (小見川)



高齡者叙勲
旭日単光章

元山田町議会議員
 保科 敬夫さん
 (府馬)



春の褒章
藍綬褒章

国勢調査員
 吉田 和治さん
 (境島)

地域力×女性力

無限大の未来

6月23日(火)から29日(月)は男女共同参画週間

閩市民活動推進課 ☎(50)1261

この期間中は、地方公共団体、その他の関係団体の協力の下に、男女共同参画社会の形成の促進を図る各種行事などが全国的に実施されます。平成27年度のキャッチフレーズは「地域力×女性力」無敵の未来です。暮らしやすく元気な地域社会をつくるためには女性の活躍・リーダーシップが必要です。これまで男性目線で考えていたこ

とに発想の転換が生まれ、活力ある地域づくりが期待されます。男性と女性が、職場で、学校で、地域で、家庭で、それぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」を実現するためには、市民の皆さん一人ひとりの取り組みが鍵となります。私たちのまわりの男女のパートナーシップについて、この機会に考えてみませんか。

6月は動物の正しい飼育推進月間

閩香取保健所 ☎(52)9161 動物愛護センター ☎0476(93)5711

次のことに注意して、動物を適正に飼育しましょう

- 飼う前に、飼える環境か、責任を持って最後まで面倒を見ることができるか考えましょう。
- 動物からうつる感染症予防のため、触ったら手を洗いましょう。
- 犬は、首輪などに登録鑑札と狂犬病予防注射済票をつけることが、狂犬病予防法で義務付けられています。
- 犬の放し飼いは禁止です。散歩

は短い引綱で行い、ふんは飼い主が責任を持って片付けましょう。

- 猫は屋内で飼うと、他人への迷惑を防止し、病気や交通事故などから守れます。
- 適正に飼うことができない犬猫を増やさないため、不妊去勢措置をしましょう。
- どうしても飼えなくなった場合は絶対に捨てず、動物愛護センターへ相談してください。